

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 ヤマザワ

コード番号 9993 URL <http://www.yamazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博

TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	22,225	△1.4	530	△16.8	531	△16.9	206	△27.7
21年3月期第1四半期	22,538	—	637	—	639	—	285	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	18.96	—
21年3月期第1四半期	26.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	39,517	25,030	63.3	2,300.15
21年3月期	39,788	24,961	62.7	2,293.79

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 25,030百万円 21年3月期 24,961百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		13.50	—	13.50	27.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	46,200	0.2	1,200	1.4	1,200	0.3	450	9.3	41.35
通期	91,500	0.4	2,300	3.1	2,300	1.4	1,000	26.6	91.89

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 10,960,825株 21年3月期 10,960,825株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 78,784株 21年3月期 78,660株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 10,882,122株 21年3月期第1四半期 10,882,919株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結財務予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な金融危機による景気の悪化の中、企業の業績は大きく落ち込み、雇用環境の悪化や個人消費の冷え込みなど非常に厳しい状況が続いております。

小売業界におきましても、節約志向により個人消費が伸び悩む中、企業間の価格競争の激化など厳しい環境となっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返し来店していただける店づくり」に取り組むとともに、最終年度となりました中期経営計画に基づいた施策の実行・検証を繰り返し行なっております。

お客様の価格へのニーズに対応するためスーパーマーケット事業部門においては、恒例となりました「生活応援セール」等各種セールを開催し、販促強化を行ってまいりました。更に新たな販促企画として、「ヤマザワ生活応援クーポン」セールを実施いたしました。

また、当社が加盟するニチリウグループ（日本流通産業株式会社）のプライベートブランド商品である「くらしモア」や当社オリジナル商品の拡販を積極的に行なっております。

商品面におきましては、「地産地消」の更なる推進のため、青果部門では地場野菜コーナーの店舗拡大を行なうとともに、各地域ごとに地元生産者グループと協力し、安全・安心な地元農産物の安定的な仕入、販売に取り組んでおります。

期中の設備投資におきましては、既存店の活性化を目的に、中山店（山形県中山町）を改装いたしました。その際、ドラッグ事業部門において同一店舗内にドラッグヤマザワを新規開店いたしました。

これらの結果、当第1四半期の連結売上高は222億25百万円（前年同期比1.4%減）、連結営業利益は5億30百万円（同16.8%減）、連結経常利益は5億31百万円（同16.9%減）、連結四半期純利益は2億6百万円（同27.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は395億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億70百万円の減少となりました。

資産の部においては、商品及び製品の増加等がありましたが、設備支払手形の決済等による現金及び預金の減少、減価償却費及び減損損失の計上等による建物及び構築物、土地の減少等となりました。

負債の部においては、買掛金、短期借入金の増加等がありましたが、法人税等の支払による未払法人税等の減少、賞与の支払による賞与引当金の減少、長期借入金の返済による減少及び設備支払手形の決済によるその他流動負債の減少等となりました。

なお、純資産は250億30百万円となり、自己資本比率は63.3%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期における現金同等物の残高は36億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億41百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは5億86百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加、賞与引当金の減少及び法人税等の支払等がありましたが、仕入債務の増加及び未払消費税等の増加、未収入金の減少等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは9億74百万円の支出となりました。これは主に前連結会計年度の設備支払手形の決済及び新店舗建築工事の契約金の支払等による有形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは1億46百万円の収入となりました。これは主に長期借入金の返済、配当金の支払等があったものの、短期借入金の増加等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月13日公表の業績予想に変更はありません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,908,895	4,050,311
受取手形及び売掛金	545,190	505,060
商品及び製品	3,700,090	3,354,098
仕掛品	711	504
原材料及び貯蔵品	60,010	67,111
その他	1,412,180	1,736,203
貸倒引当金	△4,987	△5,658
流動資産合計	9,622,090	9,707,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,475,097	11,726,405
土地	13,539,869	13,641,111
その他(純額)	1,099,739	950,910
有形固定資産合計	26,114,706	26,318,427
無形固定資産	897,589	907,618
投資その他の資産	2,883,458	2,854,414
固定資産合計	29,895,753	30,080,460
資産合計	39,517,844	39,788,091
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,238,566	5,827,445
短期借入金	2,120,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	250,000	500,000
未払法人税等	84,118	422,745
賞与引当金	127,960	429,200
役員賞与引当金	12,865	29,000
ポイント引当金	369,363	365,270
商品券回収損失引当金	60,344	60,344
その他	3,254,045	3,746,160
流動負債合計	12,517,265	12,930,166
固定負債		
退職給付引当金	431,668	423,625
役員退職慰労引当金	435,255	430,735
その他	1,103,314	1,042,183
固定負債合計	1,970,238	1,896,544
負債合計	14,487,504	14,826,711

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,087	2,205,087
利益剰余金	20,546,589	20,487,148
自己株式	△89,670	△89,526
株主資本合計	25,050,723	24,991,427
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△20,383	△30,047
評価・換算差額等合計	△20,383	△30,047
純資産合計	25,030,340	24,961,380
負債純資産合計	39,517,844	39,788,091

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	22,538,915	22,225,623
売上原価	16,216,825	15,983,139
売上総利益	6,322,089	6,242,483
販売費及び一般管理費		
給料	2,052,488	2,105,116
賞与引当金繰入額	109,292	109,508
役員賞与引当金繰入額	9,750	8,895
退職給付費用	22,412	26,535
役員退職慰労引当金繰入額	5,500	4,520
ポイント引当金繰入額	347,406	369,363
減価償却費	258,696	320,693
その他	2,878,747	2,767,138
販売費及び一般管理費合計	5,684,294	5,711,771
営業利益	637,795	530,712
営業外収益		
受取利息	2,146	1,052
受取配当金	5,038	4,527
その他	9,068	6,586
営業外収益合計	16,253	12,166
営業外費用		
支払利息	9,147	6,861
その他	5,486	4,662
営業外費用合計	14,633	11,524
経常利益	639,414	531,354
特別利益		
貸倒引当金戻入額	131	670
特別利益合計	131	670
特別損失		
固定資産除却損	21	4,556
減損損失	19,935	160,941
特別損失合計	19,956	165,498
税金等調整前四半期純利益	619,589	366,527
法人税、住民税及び事業税	236,329	71,298
法人税等調整額	97,688	88,879
法人税等合計	334,017	160,177
四半期純利益	285,571	206,349

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	619,589	366,527
減価償却費	284,078	346,011
減損損失	19,935	160,941
賞与引当金の増減額(△は減少)	△314,708	△301,239
受取利息及び受取配当金	△7,184	△5,580
支払利息	9,147	6,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	△366,511	△339,097
仕入債務の増減額(△は減少)	535,507	411,121
その他	42,351	353,012
小計	822,204	998,559
利息及び配当金の受取額	5,266	4,664
利息の支払額	△11,924	△6,570
法人税等の支払額	△755,272	△409,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,275	586,727
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△559,566	△872,957
敷金及び保証金の差入による支出	△27,255	△10,085
敷金及び保証金の回収による収入	9,629	8,501
その他	△16,422	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△593,615	△974,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	570,000
長期借入金の返済による支出	△258,000	△250,000
配当金の支払額	△146,919	△146,909
その他	△179	△26,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455,099	146,097
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△988,439	△241,415
現金及び現金同等物の期首残高	4,953,675	3,880,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,965,236	3,638,831

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。